

3つの「お題」をいただいて.....

飯塚悦功@東京大学

① 原子力安全における学協会規格基準の役割

原子力安全の体系と安全規制との関係／事業者・産業界の自主的安全性向上における役割／国際的な知見の活用と国際的な標準化

⇒ 良いもの・方法への誘導，基準開発と制度設計の分担

② 学協会規格基準に対する社会からの信頼

福島原発事故からの教訓と反省／社会から信頼される学協会規格基準

⇒ 質・安全達成の要件，信頼の条件

③ 具体的な規格基準策定の仕組みの改善

広く専門家の知見を反映できる仕組み／社会からの透明性を確保する仕組み／早急に整備すべき規格基準

⇒ 良い組織の条件，整備すべき規格基準

①原子力安全における学協会規格基準の役割

原子力安全の体系と安全規制との関係／事業者・産業界の自主的安全性向上における役割／国際的な知見の活用と国際的な標準化

■良いもの・良い方法への誘導の社会的な方法

- 市場・購入者：市場原理, 自然淘汰, 購入者の鑑識眼
- 提供者：提供者の**見識・自助努力**
- 指針・BOK：有用な知識の**普及**, ベストプラクティスの**共有**
- (民間)認証：(権威者による)社会的に認知された評価・判定
- 法的規制：**強制**による安全・安心の確保, 邪悪・無知蒙昧の抑制

■基準・指針の意義

- **統一・統制**, 知識の**再利用**(省思考), ベストプラクティスの**共有**

■基準・指針と制度

- 民：基準・指針の**開発**, 技術的根拠
- 官：基準の**承認(endorse)** + 制度**設計・運用**

②学協会規格基準に対する社会からの信頼

福島原発事故からの教訓と反省／社会から信頼される学協会規格基準

- 質・安全達成の要件－作成すべき規格基準のScopeの広さの認識
 - 技術： 目的達成のための再現可能な方法論, 固有技術
 - マネジメント： 固有技術を活用し目的を効率的に達成する方法論
 - ひと： 技術＋マネジメントの下で実施する「ひと」の能力・意欲
 - 文化・風土, 価値観： 組織文化・風土, 行動原理, 価値観・価値基準
- 信頼の条件
 - 能力...技術的能力, 管理能力, 危機対応能力
 - なかでも, 高い技術的能力 (技術＝再現可能な方法論)
 - リスクに対する考え方－原子力リスク論の再構築
 - 知るべきことを知り, その意味を理解する能力
 - 価値観...何を重要と考えるかについての価値基準 (に対する共感)
 - 誠実...迅速・正確・誠実な言動

③具体的な規格基準策定の仕組みの改善

広く専門家の知見を反映できる仕組み／社会からの透明性を確保する仕組み／早急に整備すべき規格基準

■参考：良い組織に共通する特徴

- **外向き**：(外から見て)自分がどうあるべきか強く意識する
 - 透明, 公開, 説明
 - ガバナンス, 外部の血, **profession**意識
 - 保証のころろ: 受取手の目線, 信頼の付与
- **内部コミュニケーション**: 風通しのよい自由闊達な組織, 価値観共有
- **事実重視**: たとえ誰が何と言おうともクロはクロ, 非属人的な思考と行動
- **哲学**: 筋の通った思想を持ち続ける, 家訓, DNA, 価値観

■早急に整備すべき規格基準

- **哲学**: 原子力リスク論の見直し
 - 「リスク＝致命度×確率」からの脱却, 理論化
 - 想定内/外＝設計範囲内/外, 設計範囲外に対する考慮・対応方法